

ネパール現地報告 12

メモ（主要のみ）

5月18日

12時半、アートセラピー主催者のサリタ氏と面会。前回のセラピーを首尾よく開催頂いたことに感謝し、今後の計画について話し合う。学校が再開する前が効果的とのこと、5月末までに2回の開催が決定。

5月19日

午前、関西学院大学古川教授と面会。古川教授の関係する団体へ寄贈のため、浄水器をお渡しする。

午後、埼玉県立大学看護学科、山口乃生子さんより以前から要請のあったコカナのハンセン氏病のリハビリセンターを訪問、被害状況を見る。

150年前に建ったという2階建ての建物は損傷が激しいが、その他診療所、住宅には亀裂。

JICA、NGOデスクの西前さんと情報交換。

※森医師、ネパール滞在中の医療協力の方法を検討するため、ラムジュン病院へ1泊2日の視察へ。

5月20日

GFAのナラヤンさんに活動状況についてお話を伺い、支援金をお渡しする。

ジャントラ（ネパール結核予防会）のシャラン代表と面会、現在までのジャントラの被災地援助活動を伺い、支援金をお渡しする。

午後、昨日に引き続きコカナ訪問。リハビリセンターのウマさんと面会し、今後の修理再建計画について話を伺う。21日に関係者が集まり会議があるとのこと、結果を待ち支援検討する。

5月21日

活動なし

印象

余震が（小さいものだが）1日に1～2回は起きている。19日に大きな余震があるとの風評のため多くの方が外出を控え余震に備えていたが、幸い大きな余震は起こらず20日より商業施設は再開、交通量も以前に戻りつつある。